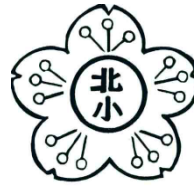


北小物語2018



平成30年12月13日
平戸市立田平北小学校
学校便りNo. (71)
校長 曾川 和則

◇◇◇ 『いっしょ』『いっしょ』『いっしょ』 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」 ◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第71話：「1年生と6年生のすてきな交流～オリジナルブックトーク～」の巻 ☆☆☆



先週のことです。朝の時間に6年生が行列を組んで2階から下りて来ました。一人一人が何やら手作りの冊子を携えて・・・向かう先は、どこなんだろうと思って見ていましたら、1年生教室の前で立ち止まりました。二手に分かれた6年生の子どもたちは、少し緊張の面持ちで1組、2組の教室に入っていました。



6年生国語に「1年生に物語を書こう」という学習があります。この日は、入学式の時からペアを組み、目の中に入れても痛くないほどかわいがってきた1年生の子どもたちに、オリジナルのお話を読み聞かせにやってきたのです。各教室に入るやいなや、6年生の子どもたちは、相棒(?)である1年生の子どもを見つけ、その席のそばに腰を下ろしました。お話の題名とお話の内容を想像させるイラストが描かれた表紙をめくり、6年生から1年生へのお話プレゼントタイムが始まりました。大好きなお兄さん、お姉さんの優しい読み語りに1年生の子どもたちの顔も優しく柔和な表情へと変わっていきます。心までもそのすてきなお話の世界へと引き込まれているようです。お話の文章と1年生の表情を交互に見ている6年生も最高の表情です。自分が作った「世界で一つの自慢のお話」を喜んで聞いてくれている大好きな相棒との至福の時間。いよいよ2学期も終わり、「卒業」まであと3か月となりました。田平北小の最高学年6年生の活躍は続きます。



すてきなお話に心奪われて

1年生と6年生の「オリジナルブックトーク交流会」

【6年生オリジナル作品の題名とお話の内容を一部ご紹介いたします！】

作者名	お話の題名・タイトル	お話の内容・ポイント
中倉 宏斗	「さんにとリンゴ」	「友情」という宝物を手に入れる三人
冠 優磨	「モンスターとのたたかい」	モンスターたちが村を襲う。果たして？
長崎 起隆	「おにぎりかそくのだいぼうけん」	おにぎりたちが大男から逃げ出した？
川島 宙	「たくろうとサンタのクリスマス」	いたずらたくろうにプレゼントは届く？
日高 瑠愛	「ふしぎなくにのいぬ」	苦手だった犬が好きになったみさちゃん
千代延春花	「花ちゃんはお花のせかいに行った？」	お花の仕事の夢が叶った花ちゃんのお話
松本 遥奈	「りさのふしぎなくにのぼうけん」	不思議なくにの妖精とお母さんの思い出
坂中 鈴旺	「てつことおながく」	楽器を弾くのがとめられないてつこは？
大浦 瑞希	「あるいばったトラのはなし」	王様のようにいばるトラの結末は？
白川 奨梧	「ふしぎなせかいに2かいもいった！」	空手の全国大会の表彰台にぼくが・・・？
瀨崎ひかる	「ねこの国のぼうけん」	どうくつに入っていくユリとねこのみー
松山 樹乃	「なぜここにひまわりはたけ？」	学校への道をまちがえたゆきとまき



※1年生と6年生のペア交流は、これからも続きます。6年生が卒業してからも、その「絆」はずっと残ることでしょう。